

SDGs貢献・地域循環型社会の構築に取り組む活動

～健康・生きがいをづくりを目指して～

広島県安芸高田市

<活動概要>

法人名	一般社団法人地域QOL研究所（設立2018年11月） 広島県安芸高田市向原町坂1689-3
メンバー	6人
活動領域	広島県安芸高田市の閉校小学校を「SDGs研修センター」とした地域づくり、人材育成を通じた健康・生きがいをづくり
活動の目標	子供達の育成、三世代の交流促進、健康づくりの取り組みを 持続可能にすすめる地域づくり
強み	地域資源を繋ぐこと、ワークショップによるステップアップ 手法



田村 眞悠
（一社）地域QOL研究所 代表理事
（一社）健康生きがいをづくりおかやま 理事

1. 健康生きがいをづくりアドバイザーまでの道のり

現在76歳の団塊の世代です。健康生きがいをづくりアドバイザー資格取得のきっかけは、電力会社退職後の地域活動模索の中で、活動地域（広島県）から離れた岡山市での出会いから、活動の場をいただいたことでした。課題としている健康寿命伸長の取り組み調査から、岡山市内で活発に活動している健康おかやまのメンバーを知人の紹介で知り、つながったことでした。以降、「健康」「生きがい」というキーワードを念頭に活動しています。

会社を定年退職後、大学で5年間博士人材の養成に係る文科省の事業に携わせていただき、「若者×地域×大学」の中で仕事できたことは、地域コミュニティ形成を目指した活動に取り組むさまざまな場面でのネットワークづくりに役立っています。

2. 地域活動開始と会社立ち上げのきっかけ

地域活動に携わったのは大学勤務直後で、地域で古民家を活用した活動をしている友人から広島県内陸部の中山間地域にあるお店に人が集まるように出来ないか？」の一言から始まりました。その場所は、広島市内から車で1時間の所にある安芸高田市でした。ちょうど、広島県が「さとやま未来博2017」の旗揚げをしている時で、この事業に採択され、「えんがわ創作プロジェクト」として地域に眠っている未利用資源に注目したのが最初の活動です。

地域資源に注目し、「アート」「健康・栄養」「未利用資源」をテーマにワークショップを1年間に17回実施し、地元から参加した33名の会員メンバー・応援団のもと、地域住民のニーズ確認と次につながること（＝持続可能な活動）を模索しました。

具体的な活動として始めたのが、藍を植え、生葉を使った「藍染め」でした。また、手入れされていない竹林の竹を市のチップパー機で粉碎加工し肥料等に利用する活動などは、今でも継続しています。また、地域資源の中には、当地が生んだ牛の絵で有名な「野に生きる日本画家 和高節二」の生き様・足跡が迎れる場所や作品の原画などもあり、こうした地域資源をどう活かしていったら良いか、ということなどもワークショップの手法を使い検討をすすめているところです。

そのような中で、ワークショップを担当した講師メンバーを中心に、「会社をつくろう」という後押しをいただき、一般



▲藍染めの原料「藍」の生葉刈りは7月から10月にかけておこなう

社団法人 地域 QOL 研究所として2018年11月に会社を立ち上げました。「調査」「研究開発」「地域づくり」が広範にできる組織づくりを目指し、専門家集団の強みを生かした活動を展開し現在6期目に入っています。

3. SDGs貢献活動と、閉校した校舎を活用した「SDGs研修センター」設立のきっかけ

地域づくりに7年間携わってきているが、最初は地域の知名度がない状況からのスタートでした。このため、まずは初めに取り組んだのは、認知度向上へ向けた周知・広報に力を注ぐことでした。そして、SDGsの取り組みを始めたのは2020年からです。試行錯誤の中で気付いたのは、目標を持つこと、絶えず目標を設定し一步一步着実にすすめていくことの大切さでした。この姿勢は5年間の大学勤務を通じて得たことでした。まずは、私自身が「SDGs ビジネスマスター」資格の認定を受けることから始め、「誰一人取り残さない」という重たい言葉を噛み締めながら、地域資源を発掘し活かす取り組みをスタートしたのです。

国内においてSDGsの取り組みが急速に広まったのは2016年からでした。いろいろな取り組みがありますが、まずは「今自分に出来る貢献」、というスタンスで取り組んでいます。「広島県さとやま未来博2021」の際には、「さとやま GOOD プロジェクト『安芸高田SDGs』」として広島県のバックアップを受け、「健康寿命伸長の取り組み」他5つのテーマを掲げ活動しました。その中の一つに「フレイル予防」を取り上げ、「フレイル」の理解と認知向上、日常生活での「予防」の大切さ等の普及啓発をすすめています。

そのような中で、2021年に安芸高田市教育委員会の廃校舎の有効利用全国公募を受け、地域づくりの人材育成の提案が採用され、2年余りの準備期間を経て「SDGs研修センター」を開校しました。この間、行政からのニーズを受け市内の閉校した5つの校舎を見て歩き、その中で、河川が側にありお寺、森林公園、JR芸備線が隣接している安芸高田市の東北部に位置する旧小田東小学校を活動の拠点とすることにしました。

旧小田東小学校は150年の歴史があり、当地には多くの卒業生がいることからここを活動拠点として、「三世代が交流し若者の集まりと未来がある地域」の構築を目標に掲げ、夢と未来づくりの人材育成に重点を置いた活動をすることにしました。こうした活動への取り組みが認められ、2022年12月「広島県のさとやまアワード」の表彰をうけ、県のトップである知事と1時間にわたる意見交換の機会を持つことができました。

なお、「SDGs研修センター」の設立資金確保及び活動コンセプトの設定や地域社会への認知度向上について、広島県の後押しを受けながら「クラウドファンディング」に挑戦するなど、これまでにない多くの貴重な経験を得ることができました。

4. 「SDGs研修センター」の活動内容

2023年9月に立ち上げた、(一社)地域QOL研究所SDGs研修センターの活動を企画する際に念頭に置いているのは、「三世代交流」で、地域資源を活用した「三世代交流」行事の地域掘り起こしと定着を目指し、小中高等学校に加え地元大学との連携もすすめています。地域の大学が地域貢献をすすめており、このコンセプトを繋ぎ、「音楽の力で地域を元気に」「大学生×地域活性化」といった地域元気応援プロジェクトを大学と協働で展開することで、さまざまな「三世代交流イベント」の開催に結び付けることが出来ました。若者のアイデア、創作性に触れることは実に楽しい。

その他のSDGs貢献への取り組みとして、広島県の「温暖化対策活動促進補助金事業」の採択を受け、「SDGs研修センター」開校に合わせて、CO2排出削減へ向けた環境事業に取り組めたのは何かの縁でした。

環境採択活動は、3年間の事業としてスタートしていますが、これまで「市民環境学習会」2回、「CO2排出量計算を学ぶ基礎講座」、「食品ロス・エコクッキングのエコ体験」、「スマートムーブ交通利用」、「再エネ土づくり」、「地産地消の料理

ひろしま里山グッドアワードとは？



里山（県内の中山間部地域）にあるものを活かして新しい価値の創造につなげている取り組みを表彰！魅力ある取組の更なる発展とプロセスノウハウの展開を目指す表彰制度。

▲2023年度のパンフレット



▲閉校した旧小田東小学校を活用し「SDGs研修センター」を開校

のすすめ」といった身近な課題を取り上げたワークショップの実施及び開催により、300人余りの住民の方々に参加いただきました。

このような活動をすすめる中で、撮影・記録の技術に長けた方とのネットワークができたことは大きな収穫でした。これからも専門的な知識やスキルを持った人材の発掘は心がけていきたいと思えます。

研究開発の分野では「海と山を繋ぐ」をコンセプトに、広島県の循環型社会の研究開発事業の中でチームを組織し、布廃材、広島湾の廃牡蠣殻といった廃棄物の地域資源化の研究に5年計画で取り組んでいるところです。こういった事業を通じてつながることができた仲間が、その他のさまざまな地域イベント開催の際に参加してくれているのは有り難いことで、内陸部の中山間地域である当地においても美味しい焼牡蠣を無料で振舞うことができている。

SDGsの達成目標17番目の「繋ぐ」ことの強みを利用したさまざまな取り組みが、より大きなつながりを活かしたプロジェクトに結びついていくことを念頭に、取り組んでいきたいと思えます。

5. 今後の目標

地域の強みを発見し資源として繋いでいくには、まずは地域資源の発掘が重要です。「SDGs 研修センター」の所在地は、JR 芸備線というローカル線の「甲立駅」に近く、大土川や山林にも隣接した毛利家発祥の地という歴史的な土地にあり、さらに、瀬戸内海と日本海とを隔てる分水嶺にも近く、世界的に注目される天然記念物オオサンショウウオが身近に観察できる土地です。

この地で、子供達の育成、三世交流の促進、健康づくりへの取り組みが、持続可能にすすめられる地域の仕組みを構築すること。そして、同じようなコンセプトを持つ他団体や地域との連携・協働により、その効果をより高められるよう、大きな相乗効果が得られるように取り組んでいきたい。

地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する。海と山を繋ぐという循環社会の構築というコンセプト、環境省が提唱する「地域循環共生圏」の理念を念頭に置き、地域資源（ヒト・モノ・カネ）の活用を通じ地域課題の解決に取り組み、自立した地域づくりを目指していきたいと考えています。



▲広島修道大学学生とのコラボ事業「SDGs フェスタ」
2023年12月10日 SDGs 研修センター体育館にて



▲画家、彫刻家の武藤順九氏による
「子供寺子屋 in 安芸高田」

(一財) 地域 QOL 研究所

広島県安芸高田市向原町坂 1689-3
<https://lqol.1net.jp/>

地域づくり全般を事業内容とした非営利の地域づくりコンサルタントですが、特徴としては、自らが企画もし開発もする事業体です。QOL (生活の質) といった個々のニーズから全体の取り組みをいたします。

進め方としては、地域ニーズ (個人、組織、自治体等) をもとに調査をし、必要に応じ開発もし、それらをもとに事業化とプラットフォームづくりをします。人材育成に取り組みSDGsに貢献する法人です。

同研究所 HP 「概要」より抜粋

「第5回 AD 活動支援講座」(6/8・土) に登壇します！

広島県安芸高田市で地域活性化に取り組む田村氏の報告を是非ご覧ください。プログラムは P16 に掲載！